

★沖縄県名護市の米軍新基地建設に向け、警察や海上保安庁が暴力的な警備活動を行い、基地建設に反対する市民らにけが人が出ている問題で、在沖米海兵隊の報道部次長が「ばかばかしい」と発言していたことが分かりました。監視・抗議行動をしている市民らに怒りが広がっています。

赤旗 読者のひろば

と な み

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代 180
Tel 33-6118

【個人住民税の特別徴収】

小規模事業者の負担増

富山県は、二〇一七年
度から全市町村で、個人
住民税の特別徴収を実
施していない事業者に
対しても特別徴収義務
者としての指定を行う
と発表しました。

その理由として、住民
税の滞納が増えている

ことが指摘されていま
す。しかし、滞納の主た
る要因は、所得格差が広
がり、困窮者が増えてい
ることであり、その解決
をぬきにして根本的な
解決策はありません。

所得税の源泉徴収に
対応するものが、個人住
民税の特別徴収だと説
明している例もありま
すが、源泉徴収制度は、
戦時中に戦費調達のため
に導入され、安易に継
続されているものです。

日本国憲法では納税
義務は国民個人にあり、
事業者は納税義務を規
定していません。源泉徴
収制度は憲法で保障さ

特別徴収とは

一言でいえば「給与からの天引き」。
所得税の源泉徴収と同様に、事業者（給
与支払者）が、個人住民税の納税義務者で
ある従業員（給与所得者）に代わって、毎
月従業員（給与所得者）に支払う給与から
個人住民税（市町村民税+県民税）を引き
去り（徴収）し、従業員（給与所得者）の
居住地の市町村に納入する制度。

れた自主申告権を奪う
制度にもかかわらず、あ
くまで「公共の福祉」の
観点から、法人に対して
事業者の苦役に該当し
ないとする判決（昭和三
十七年二月）がありま
す。

事業者は憲法上の規
定がないにもかかわら
ず、無報酬で源泉徴収等
の実務を行なっている
。特に小規模事業者に
とっては専任の事務職
員をおく余裕はなく、そ
の実務負担が重いこと
から普通徴収を選択し
ています。それが今日ま
で認められているもの
で、今回の措置は、事実
上の法律改定と同じ意
味をもっています。

昭和三十七年の判決
から五十余年経過して
いますが、事業者の事務
負担が大幅に増え、小規
模事業者にとって経
営・納税環境は悪化し、
滞納率は以上に高い水準
にあり、消費税率の引き
上げ等によって滞納の増
加が懸念されています。
そうした環境の中での
特別徴収の強制は、小規
模事業者の経営・生活・
健康状況、精神的負担の
実態を考慮していないも
のです。

普通徴収においては、
従業員等に病気等の特別
の事情が生じた場合、納
税猶予を含めさまざまな
徴収緩和措置を申請する
ことができます。

特別徴収の場合、従業
員等は納税猶予の申請が
できません。事業者が善
意で代行するのは大変で
す。また、事業者が善意
で代行したり、納付を怠
ると滞納処分と罰則が予
定されているだけです。
安易な特別徴収への強制
は、事業者にさまざまな
負担の増加をもたらし、
事業者を疲弊させるだけ
です。また、課税情報が特別
徴収義務者に通知され、
結果的に従業員等のプラ
イバシーが侵害される恐
れも否定できません。

「すべての事業者を一律
に特別徴収義務者に指定
すれば、混乱と弊害が避
けられない」として、富
山県商工団体連合会（富
商連・折橋英明会長）は
四日、富山県と交渉。「特
別徴収しないとペナルテ
ィがあるのか」の問いに
当局は「ない」と回答。

富商連側は「特別徴収
の実行については一定の
除外措置を設けるなど、
これまで以上の過度な負
担を小規模事業者に迫わ
せないよう」つよく要請
しました。交渉には、日
本共産党の ひづめ弘子
県議が同席しました。

富山県商工団体 連合会が県と交渉

富山県は、二〇一七年
度から全市町村で、個人
住民税の特別徴収を実
施していない事業者に
対しても特別徴収義務
者としての指定を行う
と発表しました。

★安倍晋三首相が企てる「戦後70年新談話」。戦後50年の1995年に、旧自民党政権のもとで出された「村山談話」の核心である「植民地支配と侵略」「痛切な反省」などの文言を「新談話」に盛り込むことに否定的な安倍首相の態度に対し、内外で反発が強まっています。

【ただのつぶやき】

7日 「ゴジラ」

昨年公開されたハリウッド版ゴジラをようやく鑑賞。

八日付「しんぶん赤旗日曜版」で俳優の宝田明さん(一九五四年の第一作「ゴジラ」主演)が「当時、第五福竜丸がビキニの水爆実験で被災し、『ゴジラ』は、核に対する恐怖を訴えるためにつくられました。被爆した日本だからこそできた映画ですね」と語っています。ハリウッド版ゴジラは、根本のところ「違う」ものでした。

なんと、水爆実験(と思われていたもの)はゴジラを抹殺するための攻撃であつた!?と…。地球の危機だろうが何だろうが、核兵器で決着しちゃうというハリウッドの脳天気さ(?)にガツカリ、というのが率直な感想。ストーリーもいまいち。どうやら日本版「ゴジラ」も復活するようですが、どんな話になるか、期待と不安。基本的に特撮好

きなので、何にせよ観るだろうけれど…。

8日 農事座談会

JA全中の「改革」について「大変な問題だ。転作をなくし、輸入を増やし、今後どうなっていくのか?」「農協の准組合員の利用制限で農協は大丈夫か?」など心配する声。

9日 JA全中「改革」案受け入れを表明

安倍政権が「改革断行」国会の目玉としている農協「改革」。最大の狙いは、TPP反対運動の要であるJA全中をつぶすこと。十五日付の「しんぶん赤旗日曜版」にJA富山中央会の穴田甚朗会長をはじめ各地のJA中央会長の談話がのっています。穴田会長は中央会改革専門委員会の座長として、自主・自立の協同組合として、自分たちで改革案をまとめたことにふれ、「政府は全中解体・農協つぶしありきでなく、わが国農業の将来展望を示さなければなりません」と訴えています。

この間、訪問活動で農業者とお話しするなかでも、「改革」は必要」とする人も、「協同組合の自主的な改革が必要。政府は現場の実態をよくみてほしい」という人がほとんどであり、政府がねらう「改革」とは異質なものです。

11日 宮町町内会総会

宴席で農協改革の話題も。「農協の金融、共済がねらい。身近に農協しかない地域も多い」と話すと、農業者でない人も納得。大変な問題です。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯090-3369-8216)

【続きんごの日誌】

11日 富山県農民連の総会に参加しました

というか準備する主体なので開催しましたと言うべきでしょうか、県内の各地で農業に従事している会員が集まって話し合いました。先週は営農組合の決算書を「新春の集い」持って

来られた方のことを書きましたが、今日の総会でも、昨年の米価の暴落と交付金のカットが大きなダメージになっていることが次々と報告されました。その影響は国が押し進めてきた規模拡大の道を歩いたものほど大きく表れているようでした。

「うちの営農組合では五千万円あつた積立金が一年で二千万になつてしまつて、今年もこんな調子だつたらやっつけていけなくなる」とか「二十ヘクタールの耕作をしている人が昨年より五百万円も減収になつた!」といった自民党は何の気になつとるか!と怒つていた」とか「恥ずかしい話だが、五ヘクタールの米を作つて二百万円の赤字になつてしまった」とか…。経営が苦しいというだけではありません。「五十代、六十代の人達が営農組合を立ち上げたが、その若い人たちが全く田んぼに出てこんもんやから、農

作業をする者が居らんよになつて困つている」とか「農業高校の卒業生を雇つてみたが、なかなか根付いてもらえなくてこの先耕作するものをつないでいけるのか心配」とか、苦勞して築いてきた営農組織を動かしていく人が確保できなくなつてきているのです。家族農業を基本にして、一人でも多くの人が地域の田んぼに関わる仕組みにしていけないと持続できないことを改めて考えさせられました。日本の農業現場がこんなに困つているのだから、米価暴落対策として余つている米を備蓄米として買い上げて欲しいと申し入れても、政府は聞く耳を持ちません。それなのに同じ政府がTPP交渉ではアメリカの米を特別枠で購入して備蓄米にするというのです! この国の政府か!?!と言われるのは当然です。